

部分入れ歯

「金属は必要なの？」

入れ歯には、「総入れ歯」と「部分入れ歯」があります。「総入れ歯」とはその名の通りすべての歯を失った人に対して作るものであり、「部分入れ歯」は一部の失った歯の代わりとして作ったものです。今回はこの「部分入れ歯」について話したいと思います。

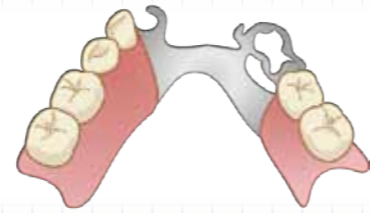
部分入れ歯は失われた歯の数によってその大きさが変わっていきます。小さいものでは歯1本分だけの入れ歯というものも存在し、大きいものでは総入れ歯とほぼ変わらないような大きさのものもあります。

多くの場合、小さいものほど入れ歯の安定が得られやすく、大きくなると安定させるのが難しくなります。



また、基本的には金属を多く用いた入れ歯の方が安定しやすく、金属をあまり使っていない入れ歯は不安定になりやすい傾向があります。部分入れ歯が安定しているとお食事の際に噛みやすく、また喋りやすくなり、笑ったりする時など表情

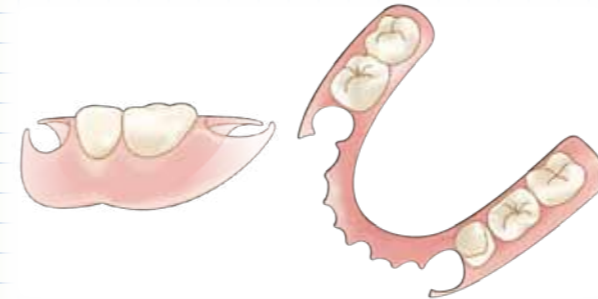
を作りやすかったりもします。さらにいえば、部分入れ歯が安定していればいるほど残っている歯に対しても優しくなり、歯の寿命に対して有利です。逆に不安定であると残っている歯や、歯が抜けた後の歯茎の部分にダメージを与えてしまうことになりやすく、結果として歯を失っていくペースが速くなったり、顎の骨の吸収が多くなったりしてしまいます。かといって、金属を多く使っていれば必ず安定するのかというと、そう単純な話でもありません。「金属を有効に使う設計がしっかりできているのであれば」という条件がとても重要です。例えば、金属のパネの締め付ける力だけで強引に部分入れ歯を安定させようとする、一時的には安定度が上がりますが逆に歯を揺らすような過剰な負担をかけることになり、歯を失うのが早くなってしまう場合もあります。



このようにならないためには、設計がとても重要となるため、部分入れ歯の治療を得意としている歯科医とそうでない歯科医とでは差が生じます。また、金属を多く使うと見た目が気になるとは思いますが、通常はパネのかかる歯の表面に少し見えてしまうだけで、一般的なパネで維持させている部分入れ歯と審美的にはあまり変わりません。

審美的といえば、保険適用外で金属のパネを用いない部分入れ歯（いわゆるノンクラスデンチャー）というものがありませんが、これは部分入れ歯などの専門の学会（日本補綴歯科学会）では推奨されていません。学会の見解を抜粋す

ると、「ノンクラスデンチャーは…咬合支持の存在に配慮せずに、外観の回復という点のみから欠損歯列患者に対し喧伝されている…外観の回復についての有効性という光の部分と、適応をあやまった場合に生ずる顎堤の異常吸収、支台歯の移動という重大な障害を惹起するという影の部分がある」という治療のガイドラインを示しています。(2018年3月3日現在)



ところが、各歯科医院のホームページ等での広告・宣伝などでも日本補綴歯科学会のガイドラインについてしっかり述べているところは少ないようです。日本において認可を受けていないメーカーはお勧めしないなどの記載は見られますが、「顎堤の異常吸収、支台歯の移動という重大な障害を惹起する」といったことに関しては、残念ながらほぼ記載されていませんでした。さて、このノンクラスデンチャーですが、一般的には金属を用いないことで、保険適用外の部分入れ歯としては比較的安価で、かつ審美的な入れ歯を手に入れられるために売られているようです。

どうしてもノンクラスデンチャーを求めたい患者さんは、普段は金属を用いた安定度の高い入れ歯を使用しつつ、“お出かけ時”や“写真撮影時”など、噛む力をあまりかけない用途で使っていただく方がいいでしょう。そして「顎堤の異常

吸収、支台歯の移動という重大な障害を惹起する」といったリスクがあることを忘れないでおきましょう。そのような状況になると、入れ歯の安定を得ることは困難になり、食べる、しゃべるなどが難しくなりますよ、と言い換えると分かりやすいかもしれません。

自分の歯をできるだけ長く残したいなら「金属を用いた安定度の高い入れ歯」を使うことを推奨します。

よく噛むことが脳に与える刺激は認知症の予防にもなりますので、できることなら多くの人が自分の歯で噛み続けてくれたら、と願います。

ノンクラスデンチャーと一括りに話してきましたが、参考として、日本で使用されているノンクラスデンチャーの代表的なものを記載しておきます。

- ナイスデンチャー ● ビタットデンチャー ● バルプラスト
- スマイルデンチャー ● アンカーアミド ● エステショット 等

部分入れ歯は、何故見た目が悪くても金属のパネを使っているのかご理解いただけたでしょうか。

治療を選択する際は、見た目だけでなく、機能面も考慮して決めてください。部分入れ歯だけでなく、1本の被せ物であっても、見た目を優先するのか機能を優先するのかで選択肢が変わるといったことも追記しておきます。

歯科では失った歯の代わりに商品（詰め物・かぶせ物・差し歯・ブリッジ・入れ歯・インプラントなど）で補う治療が多くなりますので、できるだけ自分の治療される商品に対する知識を身につけられて、悔いのない選択となるようにしていただければと思います。

(イラスト：歯科素材.comより)

KOIKE Dental Clinic



ロビー



カウンセリングルーム



診察室

小池デンタルクリニックは…

- 「一般歯科」ですのでお気軽にお訪ねください。予約診療制をとっています。
- 患者さまのご意向を確認しながら治療を進めます。診療方針として、「歯1本」ではなく、「口の中全体」を1つの単位として治療計画を立ててまいります。
- 患者さまのプライバシーに配慮し、診察室はすべて個室となっています。
- 治療計画などをご説明したり、お悩みをお聞きしたりするためにカウンセリングルームを設けています。



院長 小池 秀行

歯学博士
日本補綴歯科学会専門医

※歯が欠けたり失われたりした場合に、かぶせ物、差し歯、ブリッジ、入れ歯（義歯）、インプラントなどの人工物で補い、機能・審美を回復することを専門とし、学会で認められた歯科医師です。
社団法人日本補綴歯科学会 <http://www.hotetsu.com/p1.html>



LED 照明付歯科用双眼ルーベ
*全スタッフが所持しています。



口腔外
パキューム



LED 无影灯



LED 照明付タービン

使用器材の衛生管理のため、洗浄・消毒に関する国際規格 (ISO15883) に基づいた高度な洗浄・消毒や、高い安全性を追求した滅菌システムを採用しています。



ホルホープ
(ガス滅菌器)



クアトロケア
(自動注油浄器)



ステイティウム
Lisa



Lisa



ミーゼットウォッシャー
(洗浄・消毒器)



ピエゾン
マスターサージェリー
(超音波振動外科手術器)



炭酸ガスレーザー



歯科用CT

- 診療内容
- ・ 歯科一般外来
 - ・ 審美
 - ・ インプラント
 - ・ 歯周外科
 - ・ 口腔外科

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:30	●	●	●	-	●	●
午後2:00~6:00	●	●	●	-	●	●

休診日 木曜日・日曜日・祝日 ※祝日のある週は木曜日診療